

■□■2016年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会■□■

【時間】16:00～

【会場】W406 教室

※ 報告時間は、一人120分（報告30分、コメント及びコメントへの返答30分、その他の質疑応答60分）。

No.	日時	報告者・論題	コメンテーター
1	4/21	小林大州介 人工物進化研究の持つ含意：認知科学、文化・技術進化論、そしてイノベーション理論へ	菊池真
2	5/19	小林佑太 Weberの社会学方法論における「価値」概念の機能	西部忠
3	6/23	藤村哲史 The Hope of Working in Labor Markets: The View of N.W. Senior on the Principle of Less Eligibility	金仁子
4	7/21	佐々木憲介 経済理論における因果関係と相互依存関係—シュンペーターはどのように考えたのか—	小林大州介
5	9/8	金仁子 1990年代以降の韓国における「貧困の女性化」	曹希
6	10/13	西部忠 ①価値と価格、②情報化とサービス化の複合傾向としての脱工業化	尤歆惟
7	11/17	カンパニョーロ 人間の物質的生活を考える—若きヘーゲルと近代の生産者たち	小林佑太
8	12/15	吉井哲（名古屋商科大学） 中部圏製造業企業における価格競争力に関するアンケート調査結果報告書	カンパニョーロ
		岡部洋實 製鋼革命とイギリス鉄鋼業—技術革新の諸条件について	小林大州介
9	2017/1/19	菊池真 市場経済のネットワーク構造：理想的市場像から分散的市場像へ	橋本努
10	2017/2/17	小田和正 「存在への根づき」と知識の客観性—M. ウェーバーから K. マンハイムへの転回の意義	岡部洋實
		尤歆惟 「パリ手稿」における経済学のフォイエルバッハ構造	藤村哲史